

宇津ノ谷



東海道



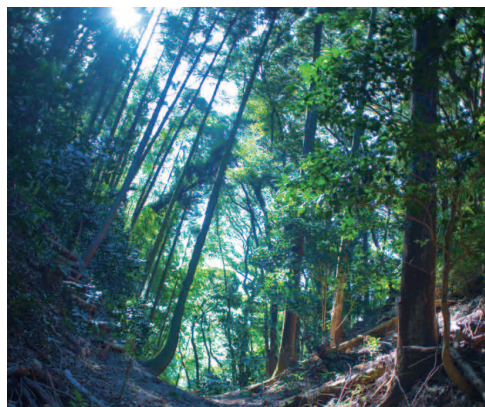
蔦の細道



蔦の細道は、日本の交通制度が制定された7世紀に主要道路としてつくられました。在原業平の伊勢物語では左遷された主人公がこの峠道で都の知人と偶然出会い、想い人への手紙を託したことがつづられています。この故事を題材に後世の文人墨客が多くの作品を創作し、いつしか、彼らのあこがれの場所となりました。



明治トンネル



室町時代より魔除けとして伝えられている十団子。これは、人食い鬼になった寺の小僧を、宇都宮素麺谷の地蔵が僧となり、鬼を10個の塊に砕いて退治したという伝説です。宇津ノ谷峠にあったこの地蔵のお堂は土砂崩れで崩壊しましたが、地蔵本体は、慶龍寺和尚の夢枕にたち無事に村に避難しています。



大正トンネル



昭和トンネル・平成トンネル

明治トンネルは、安倍川に橋が架かり物流が盛んになった明治7年、民間資金で開通した日本初の有料トンネルです。大正トンネルは、物流がますます増えてきた大正15年にトラックが通行できるトンネルとして整備着手されました。交通量が増えてきたことに対応した昭和トンネルは昭和32年に、渋滞緩和として平成7年に平成トンネルが完成しています。日本の成長とともに発展してきた道の歴史が伺えます。